

調査期間 2016年4月1日～継続中
所在地 伊勢原市上粕屋
時代 近世、中世、古代、縄文
調査原因 中日本高速道路株式会社による
新東名高速道路建設事業に伴う
埋蔵文化財発掘調査
遺跡位置 小田急小田原線伊勢原駅から
北へ約2kmに位置する。



主な調査成果

本遺跡の調査は、平成28年1月から調査を開始しました。遺跡は、上粕屋扇状地内にある台地の南斜面地に位置します。この場所は、戦後の造成により旧地形をとどめていませんでしたが、調査の結果、近世、中世、古墳時代後期～奈良・平安時代の遺構と遺物が見つかっています。近世では、段切りに伴う溝状遺構が見つかりました。2条の溝状遺構が並んで見つかっています。同時に2条が存在していたのではなく、新旧関係があるものと考えられますが、調査段階で新旧関係を確認することはできませんでした。中世では、工具で地山を掘削した際にできた痕跡が見つかっており、土地造成を行っていたと考えられます。古墳時代後期～奈良・平安時代では、竪穴住居址が3軒見つかりました。遺物は、坏、高坏などが出土しています。これらの遺物から住居址は、古墳時代後期に属すると考えています。今後の整理作業によって詳細な時期決定をしていく予定です。縄文時代では、縄文時代後期のものと考えられる土器片が見つかりましたが、遺構は、見つかっていません。今後、周辺で調査を継続する予定ですので、遺跡の広がりが見えるものと思われます。



19-2 工区 住居址群（西から）



住居址調査状況